

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	270800212		
法人名	社会福祉法人青森社会福祉振興団		
事業所名	グループホームまるめろ		
所在地 (電話番号)	〒035-0067 青森県むつ市十二林11番13号 (電 話) 0175-23-0611		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 7月 5日	評価確定日	平成 19年 9月 20日

【情報提供票より】(平成 19年 6月 11日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 13年 4月 27日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7 人, 非常勤 人, 常勤換算	7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	2 階建ての 階 ~ 1 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		

(4) 利用者の概要(6月 11日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名
要介護3	6 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 86 歳	最低 78 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人道坤会 菊池医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

家庭的雰囲気大切にされており、ゆったりとした生活の中で職員は役割を自覚し、常に一緒という考えで利用者本位の生活が優先されている。又、利用者の在宅での生活形態の継続性も保持されている。一方、地域の行事にも積極的に参加され、利用者・職員が作ったおにぎりを販売されるなどしている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	地域住民とのかかわりに関して、地域の行事の際に手作りのおにぎりを販売するなどして住民と交流を図り、好評を得ている。今後も継続していく予定である。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	全職員は自己評価の意義や目的を理解している。自己評価は全職員が取り組み、その結果は伝えられ、改善に向けた話し合いが持たれている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
重点項目	運営推進会議では、外部評価の状況・年間行事・利用者の声を取り上げた計画等を報告し意見をいただいている。又、市担当者は会議以外の日でも来訪されている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)
重点項目	家族等へは手紙・電話・広報誌及び面会時の面談等積極的に連絡されている。又、何でも話してもらえるような雰囲気作りがされている。
	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	散歩・買い物・地域行事への参加等積極的な交流がなされている。今後は、認知症ケアの啓発により一層努められることを期待したい。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	これまでの理念を見直し、全職員により地域密着型サービスを意識した内容として作成され、全職員に理解されている。		
2	2	○ 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時研修で理念を伝え、理解した上で実践に取り組んでいる。又、毎日の朝礼で唱和し、意識を高めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	○ 隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	散歩・買い物等も通常的に出かけ、近隣の人達と挨拶を交わしたり交流している。又、町内会の行事(夏祭り・新年会)等にも積極的に参加されているが、地域の一員として、認知症普及活動がなされていない。	○	今後は地域の一員として、全職員が認知症ケアの啓発により一層努められることを期待したい。

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の意義と目的を全職員が理解し取り組んでいる。その結果については伝えられ、改善に向けた話し合いが持たれている。		
5	6	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービス評価結果や課題等を報告し、年間行事等の進捗状況を伝えている。又、質問・意見・要望等をいただき解決に向けて取り組んでいる。		
6	7	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者に対して事業所の考え方や実情を伝え、運営推進会議やその他にも来訪されている。		
7	8	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	法人主催の研修会(地域福祉権利擁護事業・成年後見人制度)に積極的に参加され伝達されている。		
8	9	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	年2回の法人内の研修に参加し、全職員の理解を深めている。マニュアルも作成され、対応方法は明確にされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	○ 契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時重要事項説明書及び重度化・看取り等状態変化について、報告・相談を行うことを十分説明し、納得・同意を得ている。		
10	12	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回は電話で状況を報告し、職員の異動時にも連絡している。金銭出納帳の報告も定期的に行われている。		
11	13	○ 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族には手紙・電話・面会時に常に問いかけ、何でも話してもらえるようにしている。ケアプラン更新時には意見・苦情等をいただいている。		
12	16	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	法人内の事業所なので異動は避けられないが、利用者へのダメージを最小限にする工夫がなされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内外の研修には出来るだけ多くの職員(パートも含む)が参加できるように配慮されている。又、研修の報告・伝達はきちんとされている。		
14	18	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他法人の事業所との交流はなされていない。	○	管理者及び職員は他事業所との交流・連携の必要性を認識されておりますので、今後の活動を期待したい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が事業所へ来訪してもらうことから始め、事業所の雰囲気・スタッフの様子等を見てもらい、理解していただけるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識を持たず、助け合って生活していきましょうというアピールを言葉と態度で示されていることが窺える。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人との会話や聞き取り等から意向を理解し、次に家族とスタッフの検討により、生活歴を大事にした話し合いが持たれ支援がなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の生活習慣・癖・こだわりを大事にし、家族の思いを反映された介護計画が作成されている。		
19	34	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご家族や本人の要望を取り入れつつ、毎月評価を行い3ヶ月毎の見直しや本人の状態変化に応じて行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	法人の多様性を活かした柔軟な支援(受診・送迎・宿泊等)が、臨機応変に提供されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望を大切にし、今までのかかりつけ医による受診の支援がなされている。又、利用契約時に話し合い、合意がなされている。		
22	44	○ 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の指針に沿って、関係者全体の意思の統一がなされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	○ プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々のかかわりの中で、利用者の尊厳・個人情報の保護に努めている。又、勉強会・ミーティングで意識の向上が図られている。		
24	49	○ 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人の体調・希望・気持ち等に配慮し、職員は付き添っている。臨機応変な個別支援がなされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項 目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは利用者と相談しながら決め、調理・盛り付け・後片付けも利用者と共に行い、同じテーブルを囲み、会話を楽しみながら一緒に食事されている。		
26	54	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の希望によって柔軟に対応している。又、職員も利用者と一緒に入浴し、安心感を持っていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴から役割を汲み取り、一人ひとりの力を発揮してもらえよう、お願いできそうな仕事を頼み、後でお礼を述べ喜びを分かち合っている。		
28	58	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や気分・体調に合わせて、買い物・散歩等外出を気分転換・ストレス発散を得る機会として日常的に活用されている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
29	62	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員は法人内の研修会に参加し、権利擁護や身体拘束の意識の共有化を図っている。また、対応マニュアルによってチェックされている。		
30	63	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は自由な行動を阻止するのではなく、利用者の思いのままの行動にもさりげなく声をかけ、付き添う等安全面にも配慮されている。		
31	68	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力を得て年2回防災訓練を全員参加で行っている。マニュアルも作成され同一法人の事業所との連携もあり、運営推進会議でも協力を呼びかけている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの嗜好・摂取量・水分量はチェック表により把握されている。栄養士の専門的アドバイスを受け栄養バランスに配慮している。		
33	75	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症に対するマニュアルがあり、新たな情報を取り入れ見直しがされている。インフルエンザ予防接種は全員受けており、ノロウイルス対策もされている。		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを 期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
34	78	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間(廊下・居間・食堂・トイレ等)は居心地よく過ごせるような工夫がされ、五感刺激への配慮がなされている。		
35	80	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや椅子以外にも利用者の好みや馴染みの物等を生活スタイルに合わせて用意され工夫している。		

 は、重点項目。